犬乃艸紙

第六篇

ヘ13
3667
5

笠亭仙果鈔録
五編上
己酉
孟陽

一陽齋豊國画

犬の尾の 巴ハ 木の芽も ときとめでたき　不角

それる尾の 一ッ巴や 雪おふ犬　鞦石

笠亭仙果鈔録

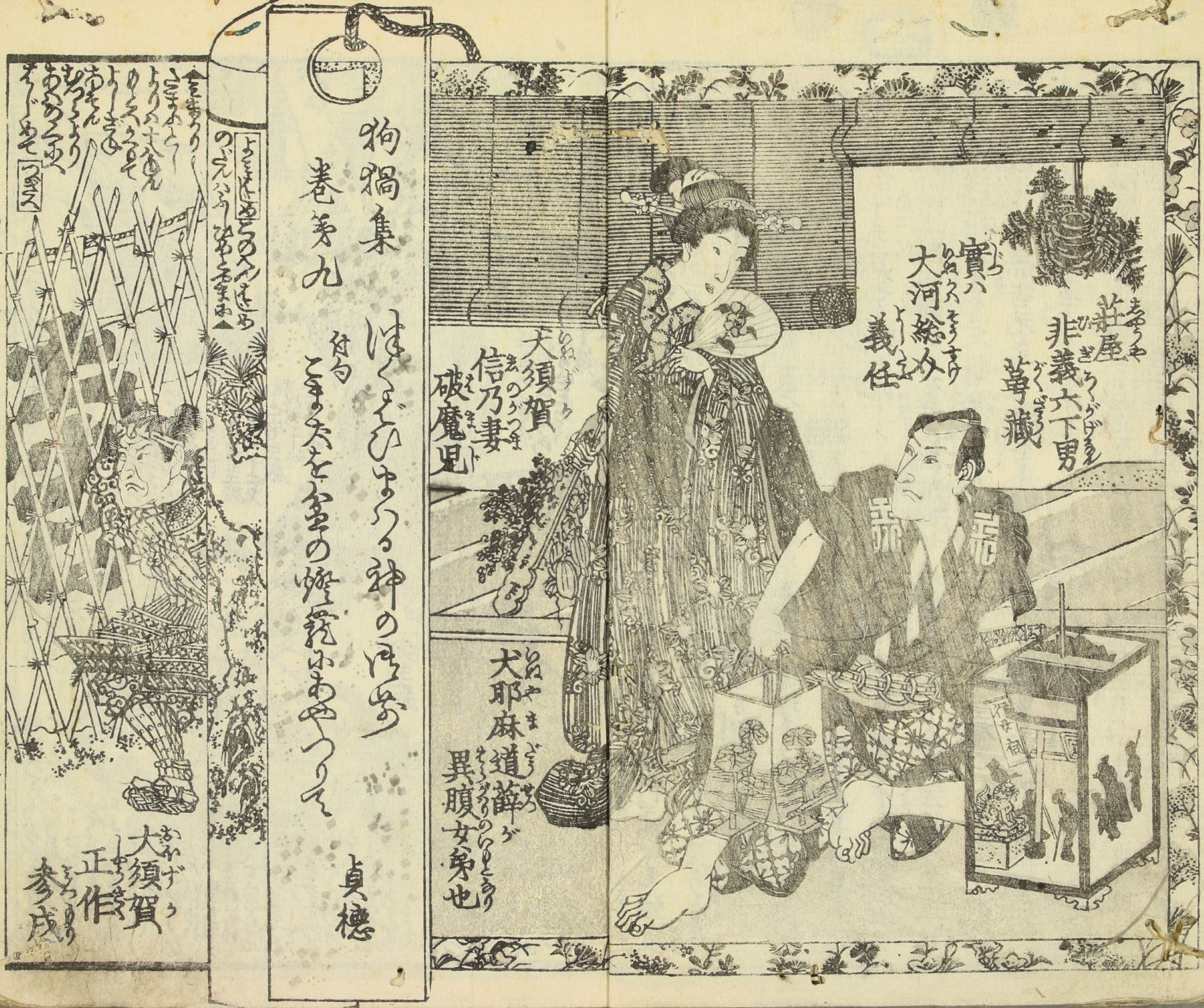
犬のさうし

第五編上帙

紅英堂板

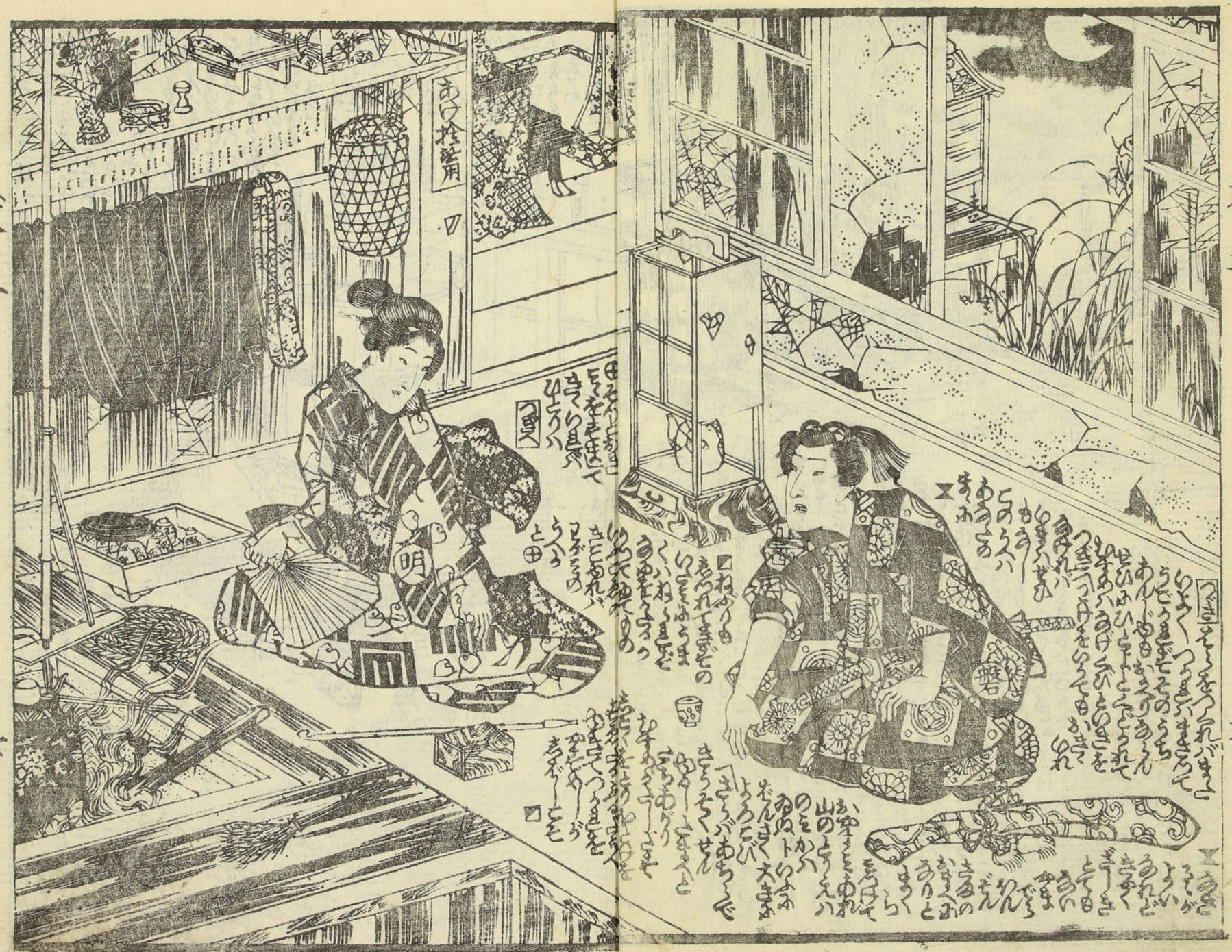
己酉孟春發販之魁

りやうのおそれとみゆる音に似てきこえしとてば業平朝臣衣通姫と道行されても。道風自筆の朗詠集一巻を所持する曲者将門が一子犬坊丸とかいても合点する人ハあれどきりとまた今の絵物太行騒吉の流行時世時代をまぜれバ少し計ハ年号月日も用ねバ豆腐に滷水をかねどもく大聲繊の着附裏つけ裃丸腰をも出られぬ道理。さりとて其年月にあハ先く實録にそむれバ仕組に難義出来てあたかもあらぬ事又是画具に膠水が過てものの見ゆる類に比しく。かの掛緒の烏帽子着て嘘のあらぬ窮屈に似たり。されバ此五編に載する。永寿王殿赦免せられ。鎌倉に下りあへ六宝徳元年二月なり。歌道の師の事をさへ鎌倉大草紙に記しと云に十三歳とあり。考ふるに大須賀盤作が嘉吉元年より九年程母の安否を訪ひも其他國に潜居よりなれバ若君の鎌倉下りを六年も早めて一両年。手飛や瘡で工夫をせうのが作者の用心なるぞ。そもぞも滷水と膠水の加減をも共識あるべし。但拙きつゞきな。時代衰の上下二本も序のときで同とおもふ口のおとびをさへ催さんかし。笠亭仙果述


狗猧集
巻第九
付句
貞徳
葦屋
非義六下男
萃藏
實ハ
大河総外
義任
犬須賀
信乃妻
破魔児
犬耶麻道節が
異腹女弟也
大須賀
正作
参戌

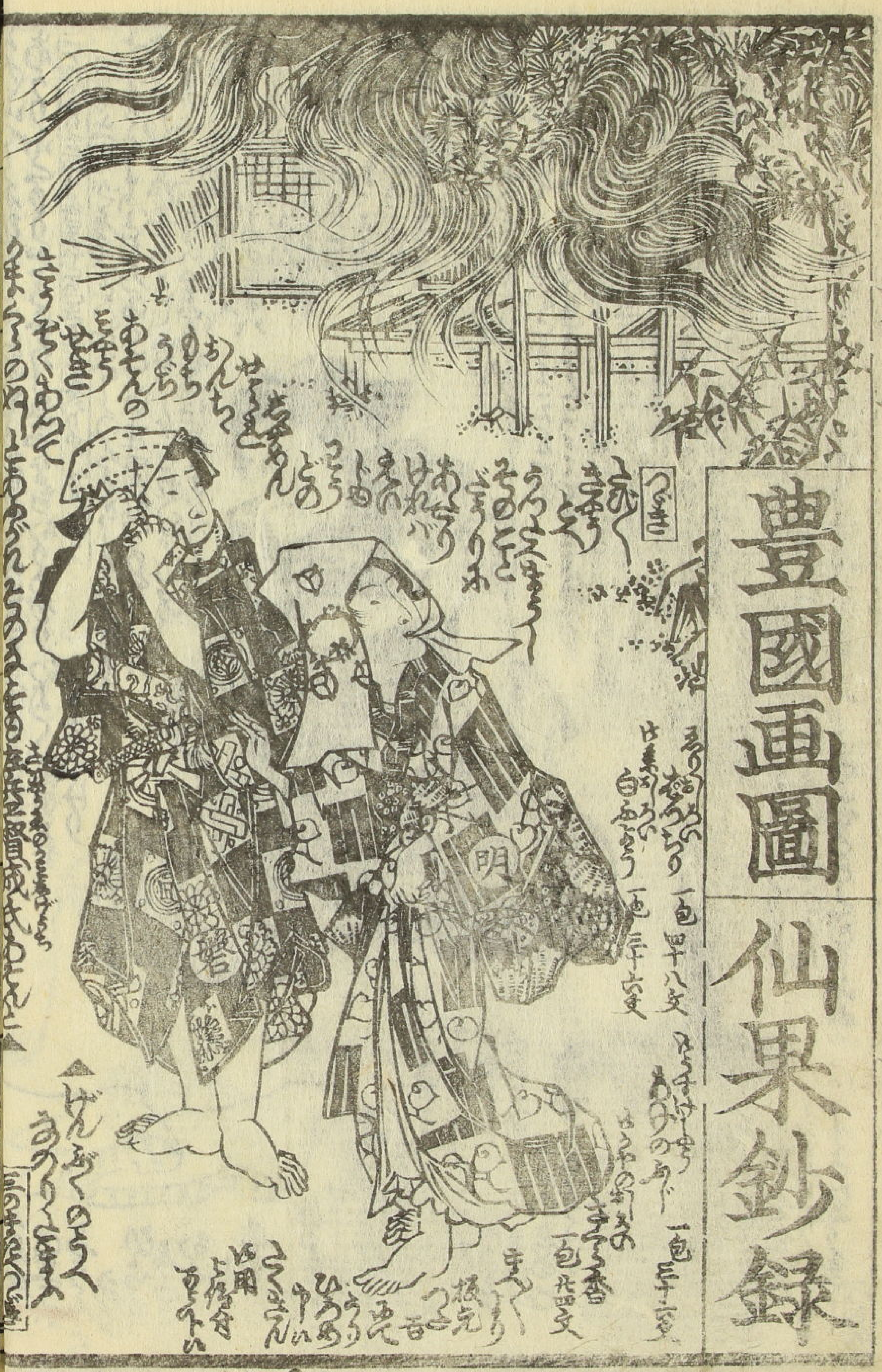
つゞき
春王殿
安王殿

長尾稲葉丸



牛
明

牛
明
磐



本家
實母散
さんぜんさんご
血のみちのくすり
一切のやまひ
中橋
南傳馬町一丁目東側
千葉堂孝輔製

御免痲疹精湯
せんきの妙薬
御用薬所
信州上田東山堂製

おしろい
せんきの薬
取次所
中橋南傳馬町一丁目
蔦屋吉蔵

舞ごろも
ゑり
おしろい
花川ち里
一袋
四十八銅

御薬
おしろい
白美人蓉
一包
三十六文

むらさき
あぶら
さくら香
一包
廿四文

同唐
げんぷう
曙乃冨士
一包
円彰

雪梅芳譚

犬の草紙

一名八犬傳

一陽齋豐國画

五編下

蔦吉板

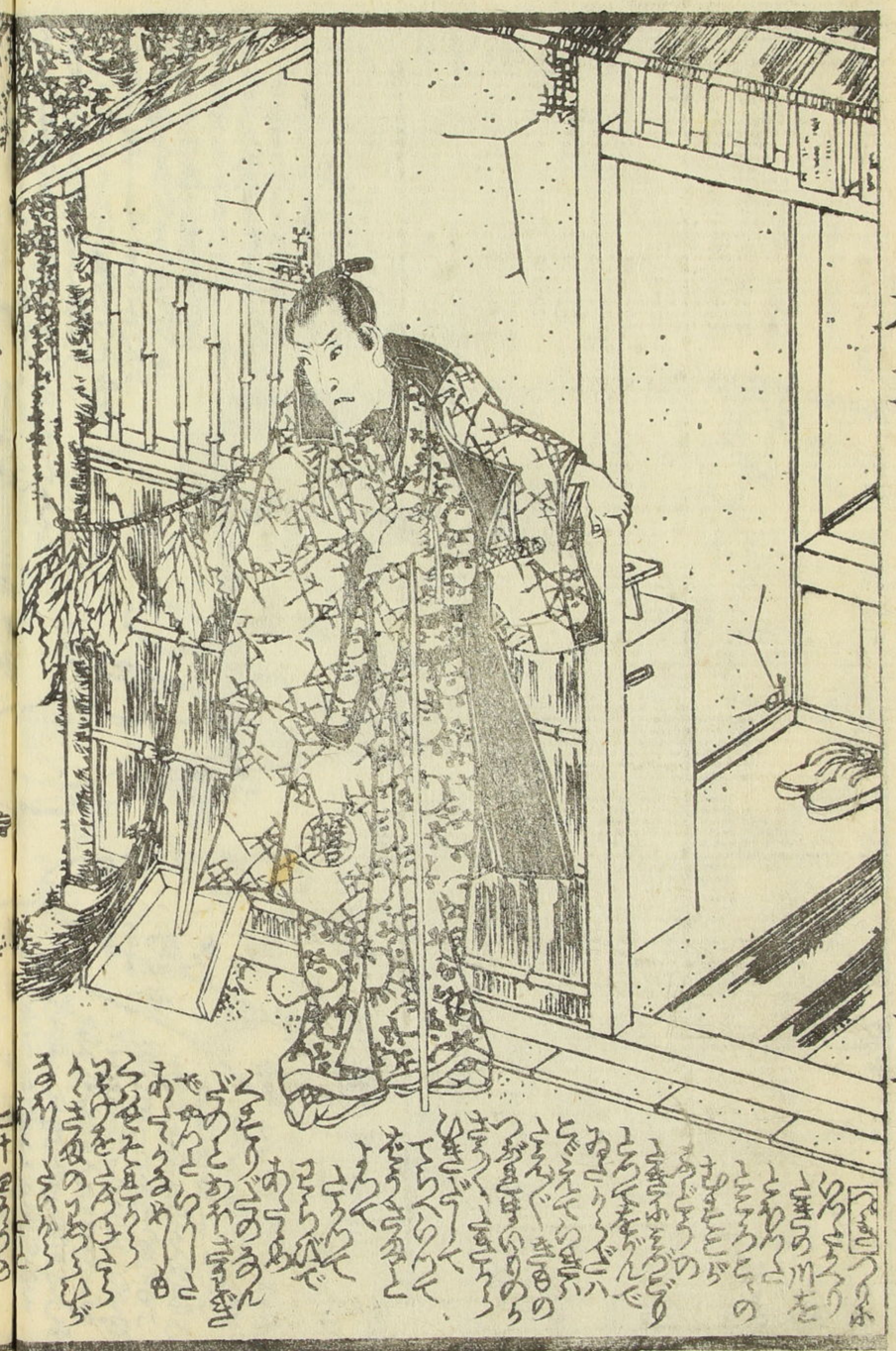
いぬのさうし

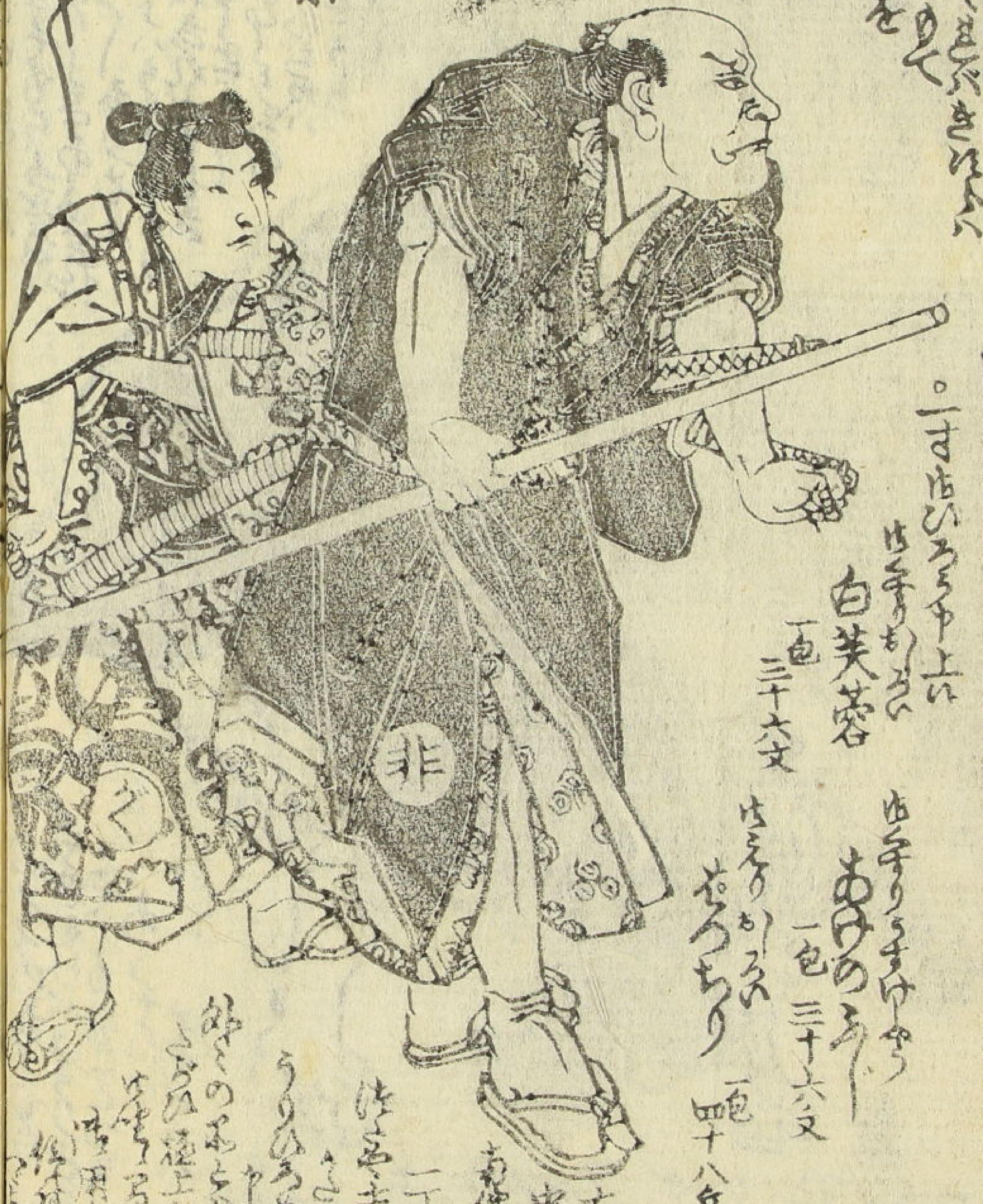
五編 下帙

笠亭仙果鈔録

一陽齋豊國画

紅英堂梓





嘉永五壬子新春新鐫目録

- 大晦日曙草紙 十七編 十八編 京山作 國政画
- 一名犬の草紙 八犬傳 十七編 ヨリ 廿五編迄 仙果録 豊國画
- 御贔屓美少年始 六編 七編 一九録 國輝画
- 侠客傳仮模略説 六編 七編 八編 西馬譯 國輝画
- 嶋巡浪間朝奈 三編 四編 種員譯 國輝画
- 府郷御江戸繪圖 大奉書 六枚つゞれ
- 大日本國郡輿地全圖 全 六枚はぎ
- 新田舎物語 六編 七編 一九作 國輝画
- 塩屋文正 古今草紙合 七編 八編 仙果作 國輝画
- 連理翅山雞奇縁 初編 二編 西馬補 國政画
- 冨士額天人松七 二冊 仙果作 芳虎画
- 春柳錦花皿 三編 四編 一九録 國輝画

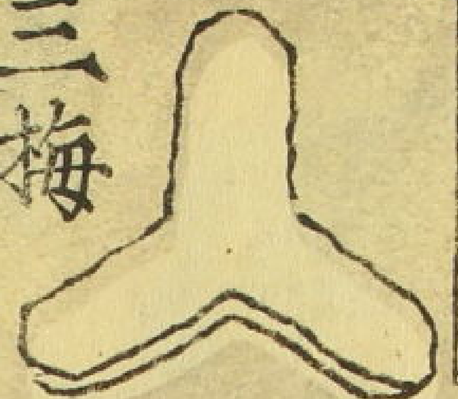
地本錦繪
東都南傳馬町二丁目
蔦屋吉藏

笠亭仙果鈔録
廣齋仕麗 由盃国貞
六編上
己酉新刻

集古図巻十九 春日社神饌所用

梅枝

干果図 三果



三梅枝 内膳司調進

男重宝記巻四 菓子類之部

上白中黒中黄 木の梅花

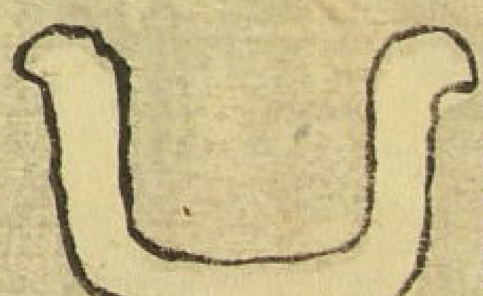
犬の草紙 六編 上冊

己酉 新刊

仙果鈔録

貞秀画図

或書所載



二梅枝

中橋 紅英堂 壽梓

重梅芳譚犬草紙六編

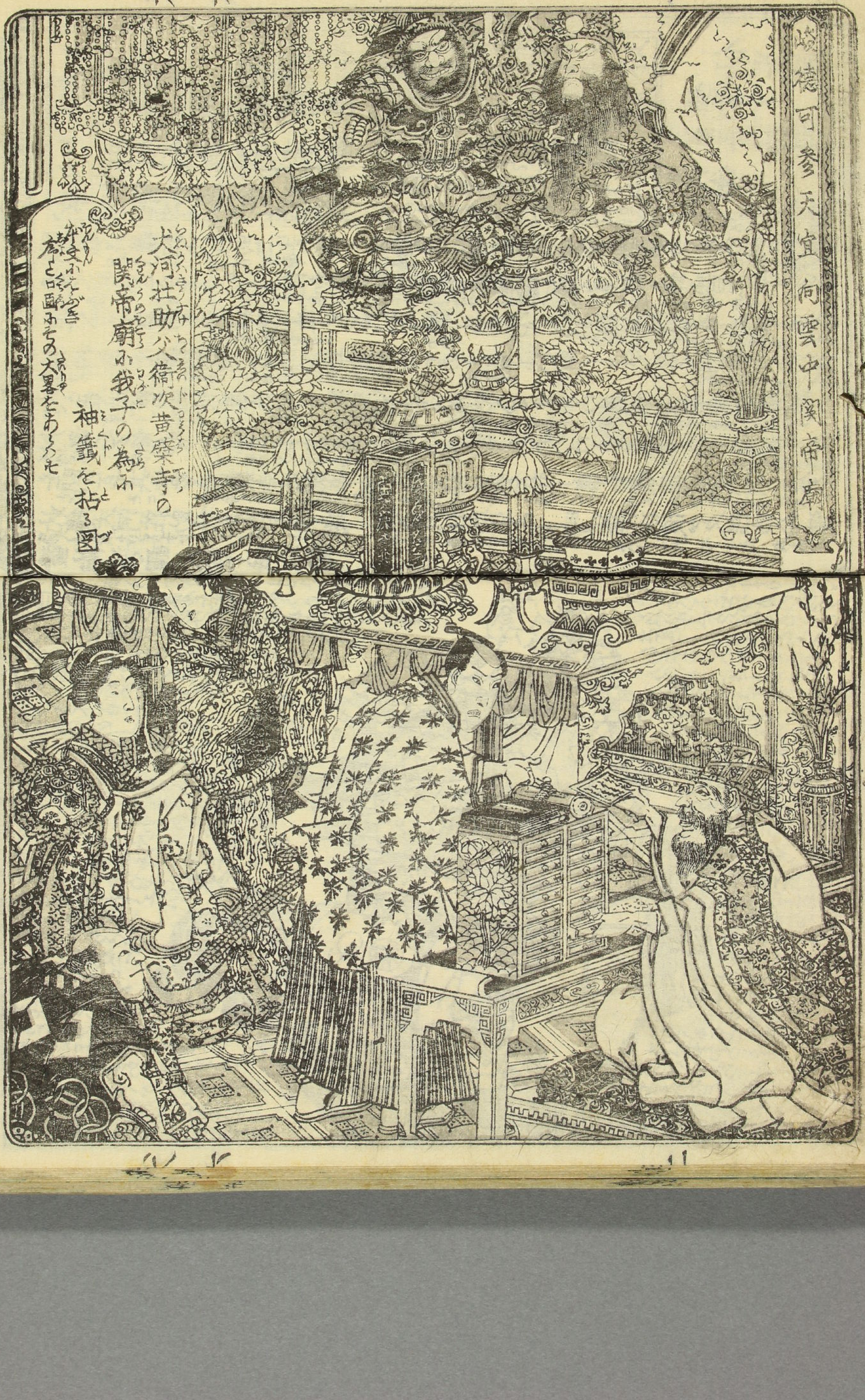
此編ハ大河荘助我素性を語る段 原書ハ荘助生まれし時父衛次彼が久後の命運を問んとて其地なる黄龍寺の関帝廟に詣て神籤を拈し事を載條児其詞の意を判断する條ありて此ハ其事皆省しハ俗に云あまりあつけなきの事ながら読本を翻案して草造紙の御得意に好ぬ処同しからねバ微妙なる文字の義理識量卓き英雄の論辯なる事細密に書出で平仮字のミの文章にハ解しがたく出て拙筆力の従ふべくもあらねバ雛児小姐もあかで飽くなりとかかる類ハ此処のミならず末々も大方棄て記さず今より既に初編の卿見義眞龍徳を語らるる語も続ハ百が一鈔して同ければ此籤詞ハ荘助が一生を摂しする趣なれば噂ずのふせで止んも本意なくその詞と判断をあらく記して序にかえ侍り

第九十八 末吉

經營百事費精神
南北奔馳運未新
玉兎交時當得意
恰如枯木再逢春

己酉正月新刊

笠亭仙果記


峻徳可参天宜向雲中関帝廟
犬河壮助父衛次黄檗寺の
関帝廟に我子の為に
神籤を拈る図
弁安にそふ僕
唐土口画にその大畧をあらハせし

非
瓶

非
岳

「つゞき」うんとうのてぶんさまんがおしてあんじ大ぶよふくハ
きつろをゆるすハ「さアそれハおのでござるのぜんぶの
むひつのつをまでとつとそふとおくでそこでぞうり「苦言で
ござうらく　とうしひきしく　おもてにゆくいうしおのか
[illegible]

仙果鈔録　貞秀画圖

無類ゑり
おしろい
花の里

御用藥所
御免疝積湯　せんきしやくつかへによし
せんきの妙藥
信州上田東山堂製

一袋　代四十八銅

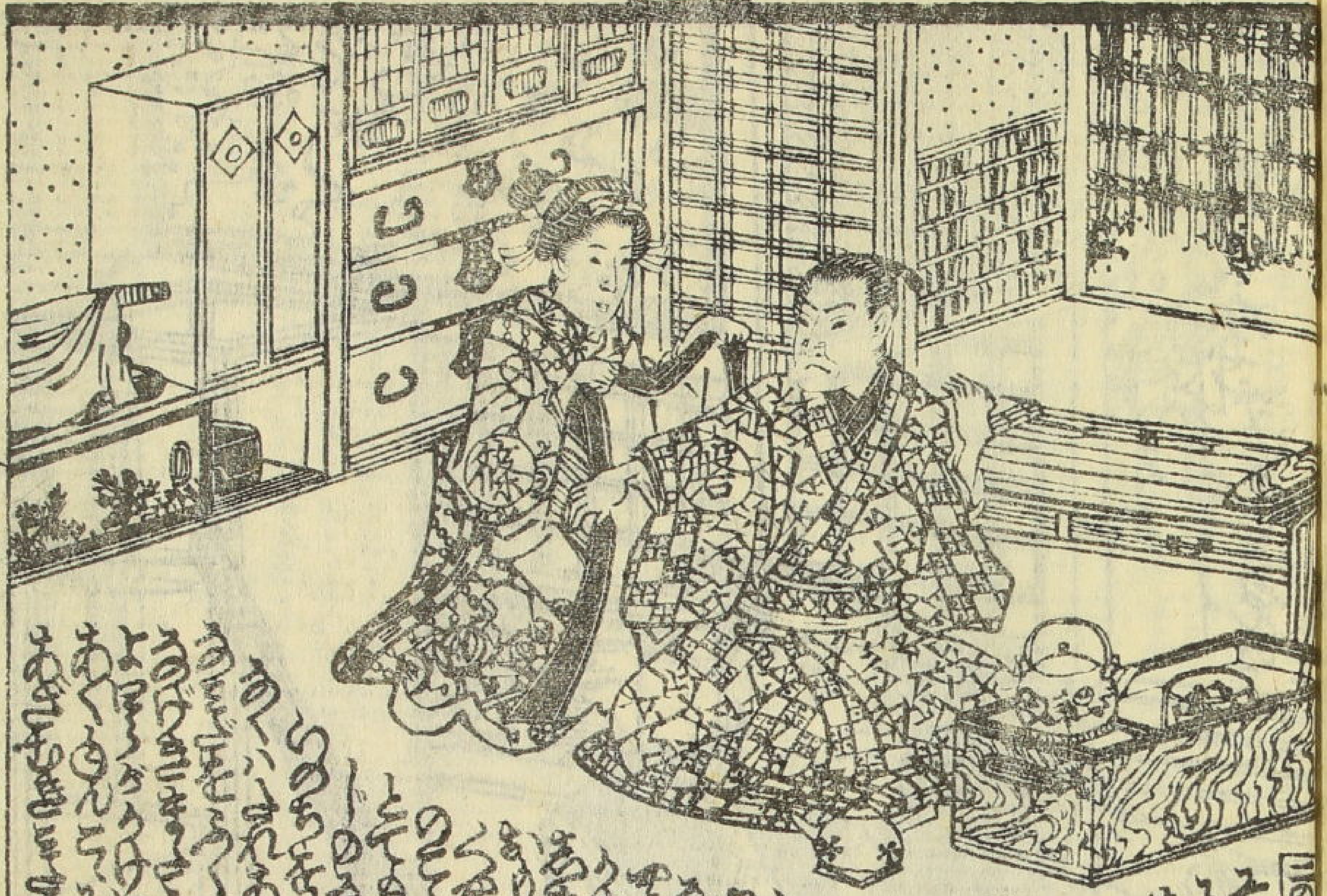
洗粉
おしろい
白芙蓉
一包三十六文

日藥
化粧
曙の富士
三十六文

中橋南傳馬町二丁目
清多や吉藏

むらひ流
おしろい
さくら香
一包廿四文

雪梅芳譚
犬の草紙
一名八犬傳
歌川貞秀画
六編下
蔦吉版



[illegible]

犬の艸紙六編 下冊

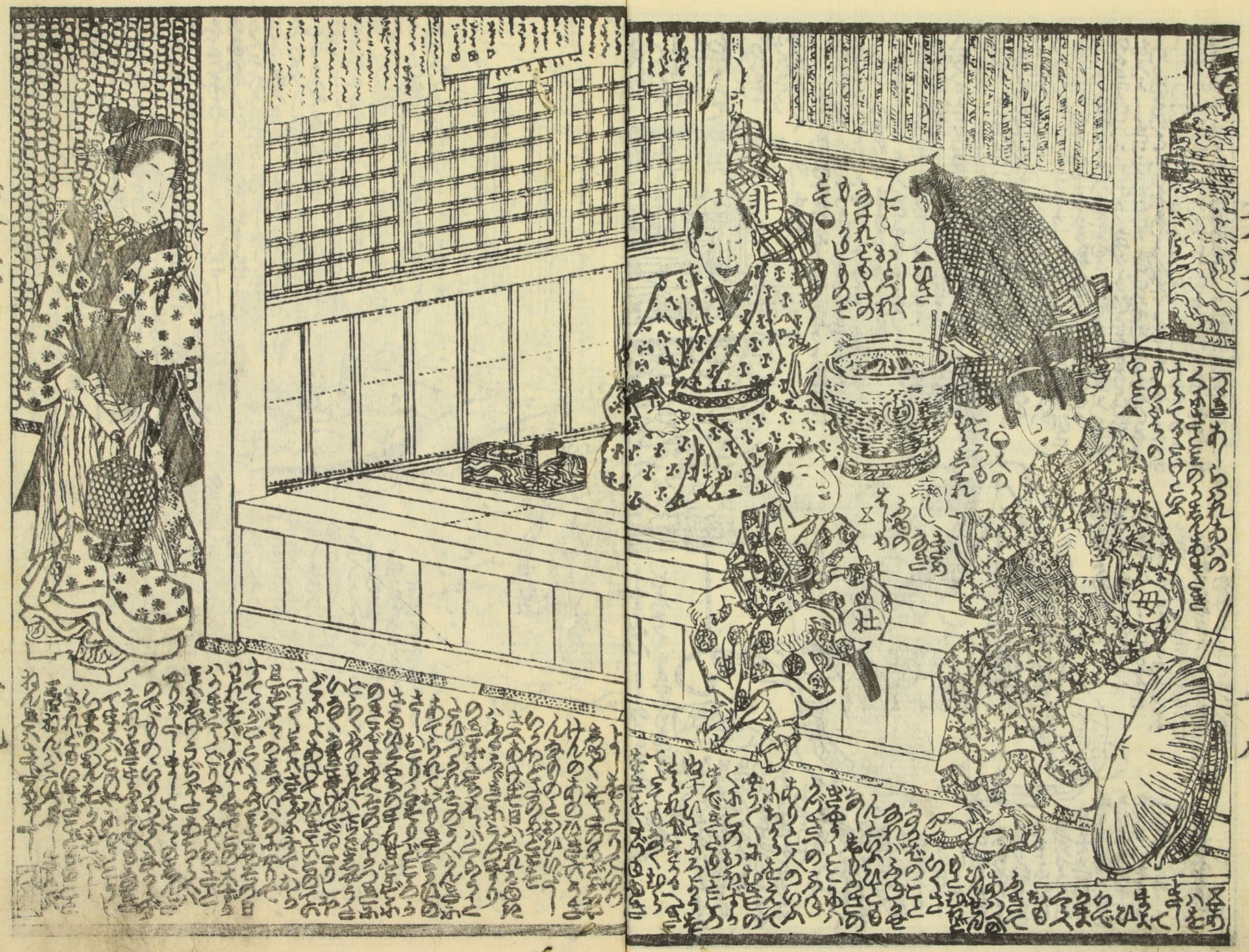
一寸此処で はなしますが 上六
はなしわすれ 白芙蓉 一包 三十六銅
ほうそうゆき 曙の冨士 同 同
おつもり ゑりおしろい 一袋 四十八銅
売弘所 中はし つるや吉蔵

笠亭仙果 鈔録
歌川貞秀 画

中橋 紅英堂 刊行

つぎ

四
非
瓶



嘉永五壬子春新鐫目録

大晦日曙草紙 十七編 十八編 京山作 國政画

一名犬の草紙（公大傳） 十八編ヨリ廿編迄 仙果録 豊國画

御贄美少年始 六編 七編 一九録 國輝画

俠客傳仙模略説 六編 七編 八編 西馬譯 國輝画

嶋巡浪間朝日奈 三編 四編 種員譯 國輝画

府郷御江戸繪圖 大奉書 六枚つゞき

大日本國郡輿地全圖 全 六枚はぎ

新敦田舎物語 六編 七編 一九作 國輝画

塩屋文正古今草紙合 七編 八編 仙果作 國輝画

連理翅山雞奇縁 初編 二編 西馬補 國政画

冨士額天人於七 二冊 仙果作 芳虎画

春柳錦花皿 三編 四編 一九録 國輝画

地本錦繪
東都南傳馬町一丁目
蔦屋吉蔵

仙果鈔録 貞秀画圖